



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,305	△4.4	464	37.9	478	65.2	234	122.2
28年3月期第1四半期	4,505	△10.3	336	29.3	289	9.0	105	△29.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 80百万円 (△66.6%) 28年3月期第1四半期 241百万円 (86.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	7.11	—
28年3月期第1四半期	3.20	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	22,066	10,421	40.1	268.24
28年3月期	20,996	10,505	42.7	271.36

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 8,857百万円 28年3月期 8,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当5円00銭 記念配当1円00銭 (創業100周年記念配当)

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	△1.7	780	16.7	770	34.9	320	57.0	9.69
通期	19,400	0.4	1,360	△7.3	1,340	10.2	570	5.5	17.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）南通虹岡鑄鋼有限公司 、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	33,621,637株	28年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	599,296株	28年3月期	599,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	33,022,341株	28年3月期1Q	33,023,641株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用の改善状況が続き、緩やかな回復基調にあります。中国をはじめとする新興国の成長鈍化や不安定な欧州・中東情勢を背景に、急速に円高が進行し、景気の先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような状況のもとで当社グループは、『1. 社会における「信頼」の創造』、『2. 社内における「相互信頼」の醸成と「自立人」の育成』、『3. 新たな領域への挑戦』を柱とする第5次3カ年計画（平成28年～平成30年度）を新たにスタートさせ、国内事業の基盤を強化し、また、海外事業においても、本年6月、中国南通市に南通虹岡鋳鋼有限公司を設立するなど、事業の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高43億5百万円（前年同期比 4.4%減）、営業利益4億6千4百万円（前年同期比 37.9%増）、経常利益4億7千8百万円（前年同期比 65.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億3千4百万円（前年同期比 122.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 鋳物関連事業

鋳物は、エネルギー関連の低迷で、鍛鋼、厚板用鋳型の需要は減少しましたが、主要顧客先の特殊鋼メーカーの設備更新に伴う需要増により、売上高は前年同期並みで推移しました。ロールは、主要顧客先である鉄鋼各社の需要が伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内カーメーカー向け需要が低水準にあり、売上高は前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、新規開拓に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。小型鋳物は、下水道鉄蓋や電線共同溝用鉄蓋は低調に推移しましたが、機械鋳物が好調で、売上高は前年同期並みで推移しました。デンスバーは、中国の景気後退による影響で国内需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、37億9千1百万円（前年同期比 3.4%減）、セグメント利益5億4百万円（前年同期比 98.9%増）となりました。

## ② その他の事業

送風機は、民間設備投資の低迷が続き、売上高は前年同期を下回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、自動車関連向けは減少傾向にありますが、IT関連向け検査装置冷却用クーラー等の需要増により、売上高は前年同期並みで推移しました。KCメタルファイバーは、自動車向け需要が低水準にあり、売上高は前年同期を下回りました。KCカーボンセラミックスは、アルミ・銅関連の需要は低調でしたが、売上高は前年同期並みで推移しました。環境装置事業は、受注活動に努めたことにより、売上高は前年同期並みで推移しました。

この結果、当事業の売上高は、5億1千3百万円（前年同期比 11.6%減）、セグメント利益2千5百万円（前年同期比 53.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、130億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ11億円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が10億2千5百万円、商品及び製品が2億2千6百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が3億6千2百万円減少したことなどによります。

固定資産は、90億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、220億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、78億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千2百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が7億1千9百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1億円減少したことなどによります。

固定負債は、38億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千1百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が7億1千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、116億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千4百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、104億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千4百万円減少いたしました。これは、主として利益剰余金が6千9百万円増加した一方、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が1億7千2百万円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.7%から40.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司が好調に推移したこともあり、売上高、営業利益、経常利益および親会社に帰属する四半期純利益とも前回発表の予想値を上回る見込みとなりました。通期の業績予想につきましては、今後の需要動向や原材料価格など、現時点において第3四半期以降の事業環境が極めて不透明であるため、第2四半期累計期間の業績予想の修正分を織り込んだものとしております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後様々な要因により、実際の業績が異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

## (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,025	3,050
受取手形及び売掛金	6,343	5,980
電子記録債権	461	655
商品及び製品	1,040	1,266
仕掛品	1,011	1,160
原材料及び貯蔵品	709	633
繰延税金資産	165	58
その他	167	202
貸倒引当金	△21	△4
流動資産合計	11,903	13,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,706	1,653
機械装置及び運搬具(純額)	2,799	2,656
土地	1,220	1,220
その他(純額)	864	1,113
有形固定資産合計	6,591	6,642
無形固定資産	19	15
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109	2,003
繰延税金資産	48	66
退職給付に係る資産	198	210
その他	124	124
投資その他の資産合計	2,481	2,403
固定資産合計	9,092	9,062
資産合計	20,996	22,066

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,993	2,893
短期借入金	1,870	2,590
未払法人税等	180	85
賞与引当金	159	82
その他	2,170	2,166
流動負債合計	7,375	7,817
固定負債		
長期借入金	2,897	3,607
未払役員退職慰労金	47	47
退職給付に係る負債	157	160
その他	12	11
固定負債合計	3,115	3,827
負債合計	10,490	11,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	6,043	6,113
自己株式	△68	△68
株主資本合計	8,564	8,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	19
繰延ヘッジ損益	△2	△7
為替換算調整勘定	382	287
退職給付に係る調整累計額	△79	△76
その他の包括利益累計額合計	396	223
非支配株主持分	1,544	1,563
純資産合計	10,505	10,421
負債純資産合計	20,996	22,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	4,505	4,305
売上原価	3,643	3,298
売上総利益	862	1,007
販売費及び一般管理費	525	543
営業利益	336	464
営業外収益		
受取利息及び配当金	25	17
貸倒引当金戻入額	9	17
その他	5	4
営業外収益合計	39	38
営業外費用		
支払利息	19	13
持分法による投資損失	55	—
その他	11	10
営業外費用合計	86	24
経常利益	289	478
税金等調整前四半期純利益	289	478
法人税、住民税及び事業税	70	78
法人税等調整額	34	55
法人税等合計	104	133
四半期純利益	184	344
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	105	234



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	184	344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	△77
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	4	△185
退職給付に係る調整額	3	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	57	△263
四半期包括利益	241	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160	62
非支配株主に係る四半期包括利益	81	18

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,923	581	4,505	—	4,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	△1	—
計	3,923	582	4,506	△1	4,505
セグメント利益	253	55	308	△19	289

(注) 1. セグメント利益の調整額△19百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△38百万円、営業外収益が30百万円、営業外費用が△11百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,791	513	4,305	—	4,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	△1	—
計	3,791	515	4,307	△1	4,305
セグメント利益	504	25	529	△51	478

(注) 1. セグメント利益の調整額△51百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△61百万円、営業外収益が21百万円、営業外費用が△10百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。